

「私の夢は、歌手になって、世界中の人に笑顔になってもらうことです。」小学6年生の卒業文集で将来の夢についてこんなことを書いています。

声楽のレッスンを始めたのは中学1年生の夏です。最初は、文化祭のクラス合唱をより良くしたいと思いいレッスンに通いました。その後は、「サントラルチア」など3曲をレッスンし、みづなホールでの発表会で演奏しました。伴奏者の方にコンクールをすすめられ、認められた気がしてすごく嬉しかったことを覚えています。それから私は、コンクールへ向けてレッスンに励みました。

中学2年生の夏に初めて出た「第27回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール」の結果は、私にとって厳しいものでしたが、そのとき感じた悔しさが糧になり次のコンクールへ私を導いてくれました。中学3年生の夏の「第9回横浜国際音楽コンクール」は、4度目の挑戦となり、「sentoneicore」「むっつむっつ」を演奏し、初めて全国大会へ駒を進めることができました。そして声楽部門中学の部1位となり、人生最高の喜びを味わいました。

「第29回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール」でも声楽部門中学の部で全国5位となり、12月27日には赤坂のサントリーホールでの入賞者披露演奏会に出演しました。

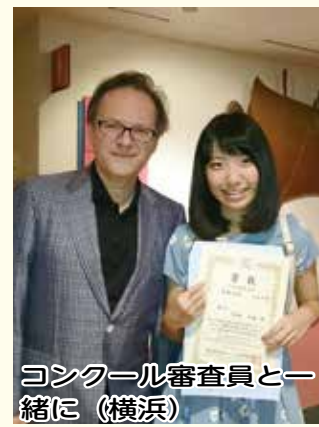
一方で中学3年生の春からは、相愛高校音楽科の受験に向けてピアノとソルフェージュ（基礎訓練）の勉強を始め、何度も壁にぶち当たりましたが、無事合格しました。今の私があるのは、声楽の先生をはじめ多くの方々との出会いとご指導のおかげと、とても感謝しています。

高校1年生となった私の将来の目標は、「世界に通用する歌手」になることです。

みくりや まどか
御厨 円香 さん
(松尾台・15歳)



中谷中学校→
相愛高校音楽科・相愛大学付属音楽教室



コンクール審査員と一緒に (横浜)

※「瞬」の掲載希望者・団体を随時募集中。詳細は町ホームページの募集情報を参照してください。

～猪名川町観光ボランティアガイドがご案内～
私のオススメ★

今月の担当ガイド



いのうえ みちひろ
井上 道博さん

猪名川町南部の巨木めぐり

肝川観音堂の大モミ
ミ(幹回り) 5.59m
肝川のレストラン「山の駅」手前から見上げると、観音堂の横に巨大なモミの木が見えてきます。モミとしては県下第5位の巨木で、周りに枝を一杯伸ばしています。ここは多田西国4番の札所であった上蓮寺跡です。

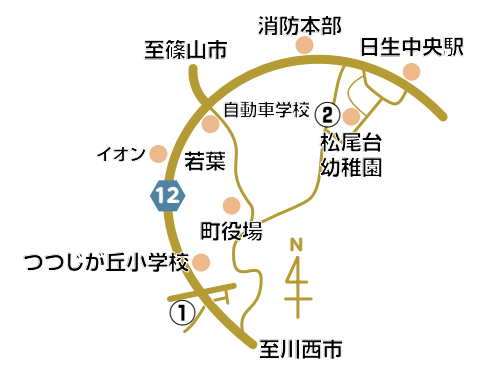
ひとすじに ねがえのぼる はちすだの いともたのもしのりのおしえを 大中原延英

の歌が残っています。また、隣の戸隠神社も、まつすぐな杉が数十本も林立し、静寂な空間を作っています。本殿は室町時代後期大永4(1524)年建立で、国指定重要文化財に指定されています。昭和63年から平成元年にかけて修理されており、鮮やかに彩色された本殿を格子の隙間から見るができます。拝殿前のツガの木(幹回り1.9m)も周りに球果を落としています。

原素彦鳴神社の夫婦大杉(幹回り向かって右4・23m、左4・56m) 松尾台幼稚園裏の石段を降りると、原川手前に原素彦鳴神社があります。拝殿裏の本殿手前の左右に大きな杉の木が立っています。高さ20m以上もあるでしょう。それぞれが外側へ枝を伸ばし、他の木を抱くようにしています。本



▲①肝川観音堂の大モミ



▲②原素彦鳴神社の夫婦大杉

▶町観光ボランティアガイドの申込・問合せ 産業観光課 ☎ 766 - 8709

道の駅 いながわだより

今月のピックアップ野菜

たけのこ【孟宗竹】(道の駅での入荷時期 4月中旬～5月下旬ごろ)

春を代表する旬の食材と言われるたけのこ。はちく、真竹など様々な種類がありますが、一般的に食べられているのが孟宗竹という種類で、地下茎から出た若芽の部分にあたります。



【選び方】
全体的にずんぐりとして、皮が薄茶色で、ツヤがあり持った時にずっしりと重いものを選びましょう。

【たけのこのアク抜き方法】

外側の皮を2～3枚取り、皮のまま水洗いします。頭の部分を斜めに切り落とし、皮の部分に縦に1本切れ目を入れます。鍋にたけのこが浸かるぐらいの水と米ぬか一握り、唐辛子2本程度を入れ、たけのこが浮かないように落とし蓋をして1時間ほどゆでます。ゆで具合を串などを刺して確かめ、火を止めて自然に冷まします。米ぬかがない時は米のとぎ汁で代用します。

5月の主な出荷野菜 生しいたけ・ほうれん草・レタス・玉ねぎ・いちご・わさび菜・ふき・スナップえんどう・はちく・キャベツ など

《5月のイベント》

3日(火)～5日(木)＝木喰そばまつり(そばの手打ち実演販売、紙しばい、三木刃物研ぎ・販売 など)
▶問合せ 道の駅いながわ ☎ 767 - 8600

中谷中学校

こども作品コーナー



▶この作品は、花火の細かい部分まで意識して慎重に描きました。
北村光さん(3年)



▶工夫した点は、花の部分です。あえて水を使わずに描きました。
谷口立羽さん(3年)

得意而忘言

▶一画一画の止め・はねを意識し、特にはねの部分を工夫しました。
西口真優華さん(3年)

◀とめ、跳ね、払い一画一画を慎重に丁寧に書きました。
加藤真実さん(2年)

雪花散馬歳暁